

2021年度 第2回ICT・DX推進委員会議事録

日 時：2021年9月14日(火) 19時～ Zoomにて

出席者：木澤副会長、小山理事、山口理事、正木理事、前川理事
三本情報管理部長、熊谷研修部長、鈴木広報部員

1. 理事会の審議事項・検討事項用紙の共有方法について

- ・SharePoint、OneDrive、LINE WORKSのメリットデメリットを踏まえて利用を検討。

各理事が現在使用し把握しているLINE WORKSでの共有から開始し、未経験であるOneDrive、SharePointについては使用しながら目処がつけば段階的に移行していく。

9月と10月の理事会資料についてはLINE WORKSの「理事会用情報共有グループ」に各理事がデータをアップロードし、事前に理事会資料を共有しておく。

その後は、LINE WORKS内でのノート機能での運用に移行できるよう、使用方法について説明を行い年内の運用開始を目指していく。(担当山口理事、鈴木広報部員)。

第2段階として理事・各部部长用にMicrosoftのアカウント作成配布し、使用しながらOneDrive、SharePoint使用の必要性を評価し、フォルダの階層構築や管理運用のルールを作っていく。アカウント管理については各理事、各部長と各ICT-DX委員が行う。

- ・報告や審議事項資料はLINE WORKS内の理事会テンプレートに沿って作成していく(10月理事会より開始)。

- ・データのバックアップについては物理的なサーバーを準備することも必要ではあるが、管理が大変になるため、今後専門業者も含めてデータ管理について検討していく。

2. LINE WORKS目的別グループ運用について

- ・同じメンバーで目的別の運用を検討。

例えば、理事会グループの中でも理事会報告用、理事会緊急審議事項用等、複数作成し、目的別に話を進めていくことで「事前審議により理事会の円滑な進行」や「1ヶ月後の理事会まで待つことなく結論を出していける」等のメリットあり。

3. 各局LINE WORKS、OneDrive、SharePoint活用について

各部ICT・DX委員との意見交換会議か活用方法の周知(動画等にて)を目処がつけば実施する。

4. その他報告 審議事項

- ・理事会のあり方について

現状の理事会の課題として報告事項が多く会議時間が長時間に及ぶため理事会資料の共有方法のみに留まらず提案していく。

- ・ICT・DX 推進委員会の継続について

見えている課題が解決できたら休眠しても良いのではないか。今後は事務局の部へ移管していく予定。士会のICT・DXの課題解決に対してITに強い人材を集めることができるよう継続的に育てていく必要性もあり。便利なツールを使用するにあたり学ぶことが管理者教育の延長にもなるため、ICT・DX教育のカリキュラムとしてあっても良い。

- ・会計業務について

現行の運用の経過観察とともに今後、会計のクラウドで一括化を検討していく。

- ・研修について

研修のアーカイブ動画の管理を著作権や講師側との契約、保管、配信方法等を統一できていない課題があり。県士会の方針を決め、動画を資産として管理し士会員のメリットとして他と差別化を図っていく。

- ・ホームページ活用について

ホームページから会員専用研修動画が視聴できる等、県士会員の在会メリットを発信していき退会者を減らす取り組みが必要。ホームページの作り替えや使用するサーバについて調査していく。

- ・広報活動について

士会だより作成による対外的な発信とともに、SNSにこまめに投稿し会員と会員外向けに情報を発信できるよう情報の収集方法をGoogle Formsに変更し早期の発信を促すとともに、士会だより作成班とSNS班で情報共有できるようにOneDrive利用していく。